

荒小の子

学校だより No.4

青森市立荒川小学校

令和6年7月19日発行

全校児童数 154名

男子 77名

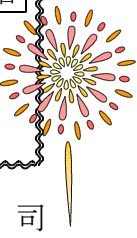
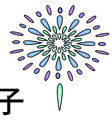
女子 77名

◆教育目標◆

○学び合う子

○思いやりのある子

○健康でたくましい子



夏休みは子どもの充電期間

校長 栃丸 庄司

明日の7月20日から、いよいよ子どもたちが楽しみにしていた長い夏休みが始まります。4月の入学式から、本校の教育活動に対して、数々のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。さて、私たち教師たちは、子どもが人生の中で一人の人間として輝いてほしいと願っています。誰もが一流になることはできないと思いますが、子どもが輝こうとする意欲をもたせるのは、大人の責務だと思います。

学校では、学習活動の中で友だちと関わり合い、助け合い、相手のよさに気づかせる体験をたくさん作るよう心がけています。そのためには、子どもの心の健康が大前提です。家庭のあるべき姿が重要となります。子どもにとって一番安心感がある場所は、家庭です。



家庭で保護者の温かい愛情を受け、初めて子どもは心のエネルギーを満たします。エネルギーが満たされた子どもは学校でも意欲的です。勉強や友だちとの関わりも前向きで積極的に頑張ります。自分を大切にしようとするとともに、友だちも大切にしようとします。何よりも自信のある行動ができます。

エネルギーが満たされない子どもは朝から元気がなく、すべてに自信と意欲が不足がちです。人のせいにしがちになったり、友だちとのトラブルも起こしがちになったりもします。

誤解の無いように付け加えますが、これらは全ては私個人の意見ではありません。発達臨床心理学、保育学、児童学において、長年に渡って研究され、検証されてきた上での定説です。



夏休みは、今までと違って家庭にいる時間が長くなります。わが子の健全な成長に見通しをもち、保護者としての毎日の子どもの関わりを大切にしてほしいと思います。また、子どもたちは学校を離れ、家庭や地域で過ごすことになります。学校では、学習、生活、安全、健康等について指導してきましたが、夏休み中は、家庭や地域におきましても子どもたちの様子に目を向けていただき、子どもたちにとって安全で安心な夏休みとなりますよう、お願い致します。

「幸せ」に関する名言集

今年度の学校経営方針に「みんなが幸せな学校」を掲げて、三ヶ月と三週間が経過しました。この「幸せ」に関する捉え方は人によって、地域によって、生きた時代によって多少異なるようです。そこで、暫く、学校通信でも「幸せ」に関する名言集を掲載します。保護者の皆様には有志参加のアンケートという形で、下の1 or 2から心に残ったもの、もしくはなるほどと思う方を選択し、マチコミのアンケートPLUSにて返信していただきたく存じます。

7月版

- 1 幸せになろうなんて思わないで下さい。幸せを掴みに行つて幸せを掴んだ人は一人もいません。幸せは感じるものです。(坂本金八)
- 2 幸せはコープスのようなもの 何か別なものを作っている過程で、偶然得られる副産物なのだ。

(オルダス・ハクスリー)